

練二通信

No. 405

令和3年1月29日

練馬第二小学校

校長 濱中 一

挑戦してできるようになる喜び

校長 濱中 一

授業の様子を見て回ったり、私自身が授業をしたりしていると、子供らしい反応にたくさん出会います。

ある日、四年生が理科の授業で、アルコーランプにマッチで火をつける

学習をしていました。三年生の七輪体験で、一度は火を扱っているはずの子供たちですが、いざ二年振りにマッチを擦ってみると、恐怖が先に立つのでしょうか。おっかなびっくりマッチ棒をやすりにあてがうだけで、力強く火薬をこすれず、なかなか火がつかません。周りから「がんばれ!」「もっと強く!」と声がかかりますが、さらにプレッシャーがかかり、マッチ棒の前に擦り出した途端、手を引いて逃げようとする子も。何度かのチャレンジで、なんとかランプに火をつけると、ようやく安堵の表情が見られました。

ところが不思議なもので、つい先程ようやく火をつけた子供が、次の番の子に、「こうやってやるんだよ!」と得意そうに教えてあげています。火をつける楽しさに気づいたのでしょいか。

「ねえ、もう一回やりたい!」と、怖がっていた子のうち、かなりの子がまたマッチを擦りたがっています。時間に限りがあり、残念ながらこの日の体験は一回限りとなりました。

また、中学年の子供たちが、高学年ハードル走の前段階として、小型ハードル走を学習していました。等間隔に置かれたフラフープ、段ボール、通常の半分程の高さのミニハードル。何種類かのコースを子供たちは喜んでピョンピョンと走りますが、それだけではすぐに飽きてしまいます。そこで、可能な子には、障がい物の間隔(インターバル)を五十cmずつ伸ばしたコースに挑戦させることにしました。スピードを上げてそのコースを走らせると、子供たちはそれまでのピョンピョンという感覚とは違う、風になったような爽快感を味わうようになります。一度スピード感を味わった子供たちは、「気持ちいい!」「もっと速く走りたい!」と、何度も何度も楽しそうにコースを走っていました。

これらの楽しさは、それまで体験したことがないことに、ほんの少しの挑戦をして、できるようになったから味わえた「楽しさ体験」「成功体験」です。これらの体験こそ、学校で学ぶ楽しさ、主体的な学びの根幹を支えるものです。

教師が何度も口で説明するよりも、実際に難しさを乗り越えて成功体験をしたことが、子供たちの次への意欲につながります。ただし、大人にすればほんの少しの挑戦でも、子供にとっては立ちほだかる壁のように感じる場合もあります。子供が「やってみよう」と思い、乗り越えることができる小さな課題を、一人一人の子供に合わせて設定して挑戦させ、「できるようになった喜び」すなわち達成感を味わわせるのが、教師の大切な役割です。

コロナ禍で体験できないこともありますが、こんな時こそ、一つ一つのことにじっくり取り組むチャンスです。あと二か月、今できることをもう一度整理し、日常の学習の中で、存分に体験をさせ、「学ぶ楽しさ」「高まる喜び」を味わわせていきます。

一月の朝会より

○一年の初めに目標を決めて、必ず継続しよう。私は、みんなの笑顔に支えられて、元気にあいさつを一年間続けられた。今年も笑顔であいさつをしていきます。

○コロナの対策は、マスク・手洗い・距離。今までどおりの対策を確実にやるのが大切。自分、他人の体と心を守ろう。

二月の行事予定

- 5 (金) 午前授業
- 9 (火) 避難訓練
新一年生入学説明会
- 10 (水) 午前授業
- 11 (祝) 建国記念の日
- 13 (土) 土曜授業
- 16 (火) 連合図工展・連合書写展(24日)
- 18 (木) 保護者会(三、四年)
- 19 (金) お別れスポーツ大会(五、六年)
- 22 (月) PTA総会
- 23 (祝) 天皇誕生日
- 24 (水) 保護者会(一、二年)
- 25 (木) 六年生を送る会
- 26 (金) 卒業を祝う会
- 27 (土) 土曜授業(公開なし)

※行事は新型コロナウイルスの感染状況により、変更または中止となる場合があります。



★今月の生活目標

じょうぶな体をつくろう

★週の生活目標

- ・上着をぬいで遊ぶ
- ・寒さにまげず元気に遊ぶ

連合図工展について

図画工作科

毎年、年明け早々の大きな連合行事として、練馬区立小学校連合図画工作展があります。今年はコロナ感染拡大予防対策として代表児童作品による各校での分散開催となります。

二月十三日(土)～二十四日(水)、練馬第二小学校会議室で開催されます。合わせて、選抜された書写作品が連合書写展として同時に展示されます。

区内全小学校の代表児童の作品が一同に会する図工展とはなりません、アートフェスティバルに展示できなかった作品や三学期に入って完成した作品なども展示します。

いつもの図工の時間に、様々な材料や道具を使い、自分らしく自分の「こうしたい」を存分に発揮し表現した力作です。出品されているお子さんだけではなく、是非この機会に子供たちの作品をご覧いただければ幸いです。

二分の一成人式に向けて

四年担任

「二分の一成人式」は、十歳という節目である歳を迎えたことを祝い、今までお世話になった方々へ感謝の気持ちを伝えるとともに、これからの夢や

目標に向けての決意を表明する式です。総合的な学習の時間に、二分の一成人式に向けて学習を進めています。まず「大人」のイメージを学級で話し合いました。「大人は、色々なことができる。」「大人は、仕事が大変そう。」「など、子供たちがもっている大人像を素直な言葉で表していました。そして、十年間で自分ができるようになったことや、家族に支えられてきたこと、将来に向けての思いを手紙やポスターにまとめています。

また、自分のもつ良さや可能性をアピールした自分CMを流したり、手紙で感謝の気持ちを伝えたりします。そのための準備をクラスで進めています。今年度の二分の一成人式は、感染症対策の為、例年とは内容を変更して行います。共にお互いの成長を祝い、感謝の気持ちを大切にしてほしいと思います。子供たちの思い出に残る会になるよう取り組んでいきます。

あいさつ運動 川柳大会

生活指導部

毎年、一月下旬に全校児童で「あいさつ運動 川柳大会」に取り組んでいます。今年も、一月二十二日の「きたえ国語」の時間に二年生以上が実施し、一年生は、担任と一緒に取り組みました。あいさつは、人と人の心をつなぐ上

でも大切なことです。日々の指導に加えて、年一回「あいさつ運動」として取り組み「気持ちのよいあいさつをしよう」という意欲を喚起したり、「あいさつの大切さ」を考えたりする機会にしています。

「川柳」は難しいところもありますが、「五・七・五」のリズムを楽しんで、「あいさつへの思い」を表現してほしいと考えています。

子供たちが一生懸命考えて取り組む「川柳」では、毎年素敵な作品が生まれています。その中から、各学年三points、本年度優秀賞に選ばれた作品を紹介いたします。

【一年生】

- ・おはようと ともだちさそう ボールしよう
- ・じぶんから あいさつをして いい気持ち
- ・ごめんねと なかなかおしして うれしいな

【二年生】

- ・あいさつは えがおたたくさん つくるんだ
- ・あいさつで えがおになるよ みんながね
- ・あいさつは みんな元気に なるまほう

【三年生】

- ・おはようは 今日のはじまり がんばろう
- ・あいさつは 一言いえば 心はかわる
- ・あいさつは されるとハッピー やってみよう

【四年生】

- ・ごめんなさい そのひと言で 伝わるよ
- ・おはようは 一日の初め いい気持ち
- ・ありがとう あなたの心 あたたまる

【五年生】

- ・あいさつは 出会った人への プレゼント
- ・あいさつよ みんなにとどけ 心から
- ・あいさつは 目と目を合わせ 一礼でもできること

【六年生】

- ・あいさつは 仲を深める まほうの言葉
- ・ごめんなさい それが言えれば 大丈夫
- ・自分から 一歩進んで ありがとう

二月末まで昇降口にも展示しますので、ご来校の折には、ぜひご覧ください。